

平成 28 年度第 2 回 (通算第 80 回) 山口国際文化学会

# 地域・大学連携による地域づくりをめざして ～木梨邸の事例を中心に～

2016 年 5 月 25 日 (水) 16:10～17:40

山口県立大学 3 号館 1 階 C12 教室 (山口市桜島 3-2-1)

山口県立大学が位置する宮野地域には数多くの地域文化資源がありますが、そのなかの一つ、木梨邸に焦点を当て、ここを拠点とした地域・大学間連携の可能性について考えます。木梨邸は、幕末期に江戸城の無血開城に貢献した木梨精一郎氏 (1845-1910 / 男爵) ゆかりの御邸で、山口県立大学の北側、徒歩わずか 10 分の距離に位置します。本格的な堤も有する広大な敷地に、1867 年 (慶応 3) に建造された木造数寄屋建築や墓所が現存し、まさに生きた文化遺産です。今回、木梨精一郎氏の曾孫にあたられる木梨恒寛氏もお招きし、木梨邸～宮野地域～大学間の繋がりを深める方法について多面的にディスカッションしていきたいと思います。地域の皆さまも、どうぞお気軽にご参加ください。

プログラム:

(趣旨説明) 「地域文化遺産の活用法 ～木梨邸の事例から～」 齊藤理 (山口県立大学)

(プレゼンテーション)

- 1) 「木梨家と宮野について」 木梨恒寛氏 (アイセック・アルムナイ・ジャパン理事)
- 2) 「木梨家に関わる歴史資料の教材化について」 北林健二氏 (山口県史編さん室)
- 3) 「地域文化財の整理と保全について ～木梨家所蔵史料から～」 渡部史之氏 (山口県史編さん室)
- 4) 「地域に大学があるというしあわせ」 安溪遊地 (山口県立大学)

クロスセッション

事前申し込み不要です:

共催: 日本国際文化学会 (予定)

問い合わせ先: 山口県立大学・地域文化創造論研究室 / TEL 083-928-2527(直通) / [tsaito@yamaguchi-pu.ac.jp](mailto:tsaito@yamaguchi-pu.ac.jp)